

2022年度 欧州における日本和牛プロモーション実施報告

日本食品海外プロモーションセンター（JFOODO）

和牛チーム

2023年5月

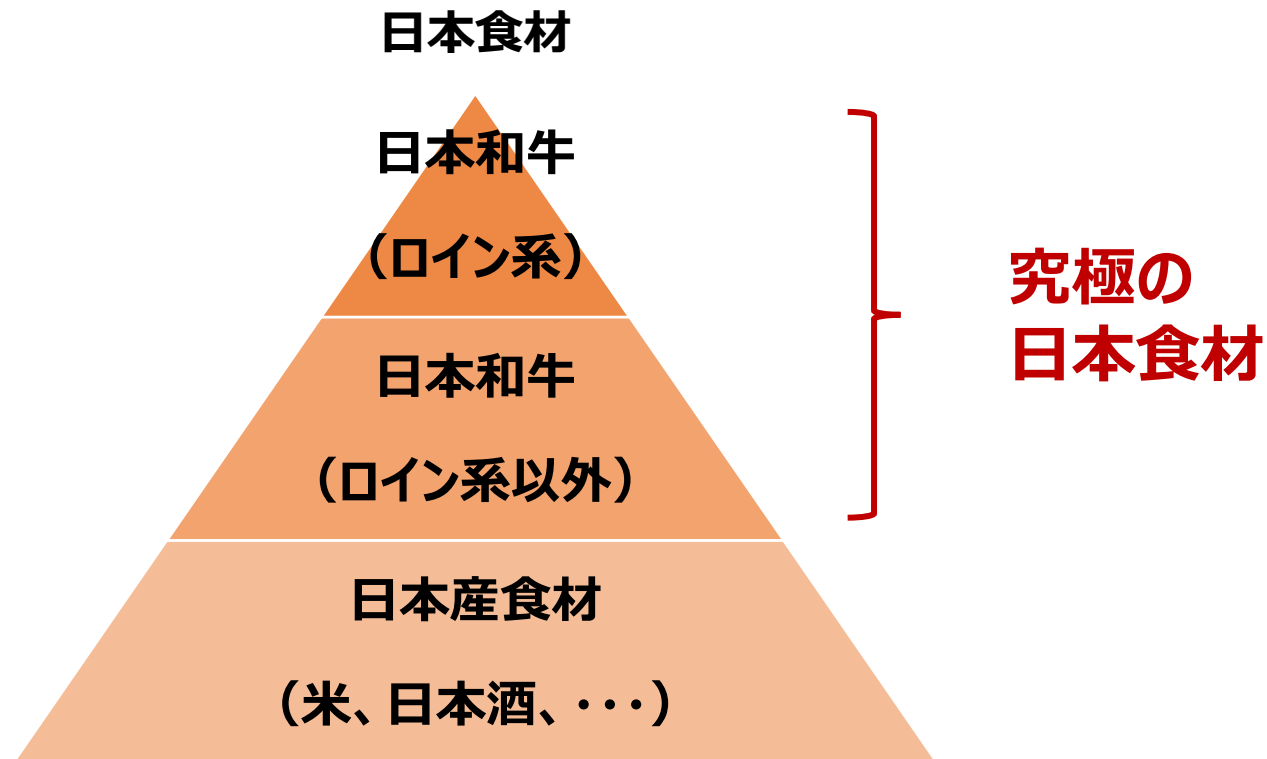
本資料の内容

- 全体像
 - 目的と取り組み方針
 - ターゲット地域およびターゲット層
 - キャッチコピー
- 施策内容と実績
- プロモーションの効果

全体像

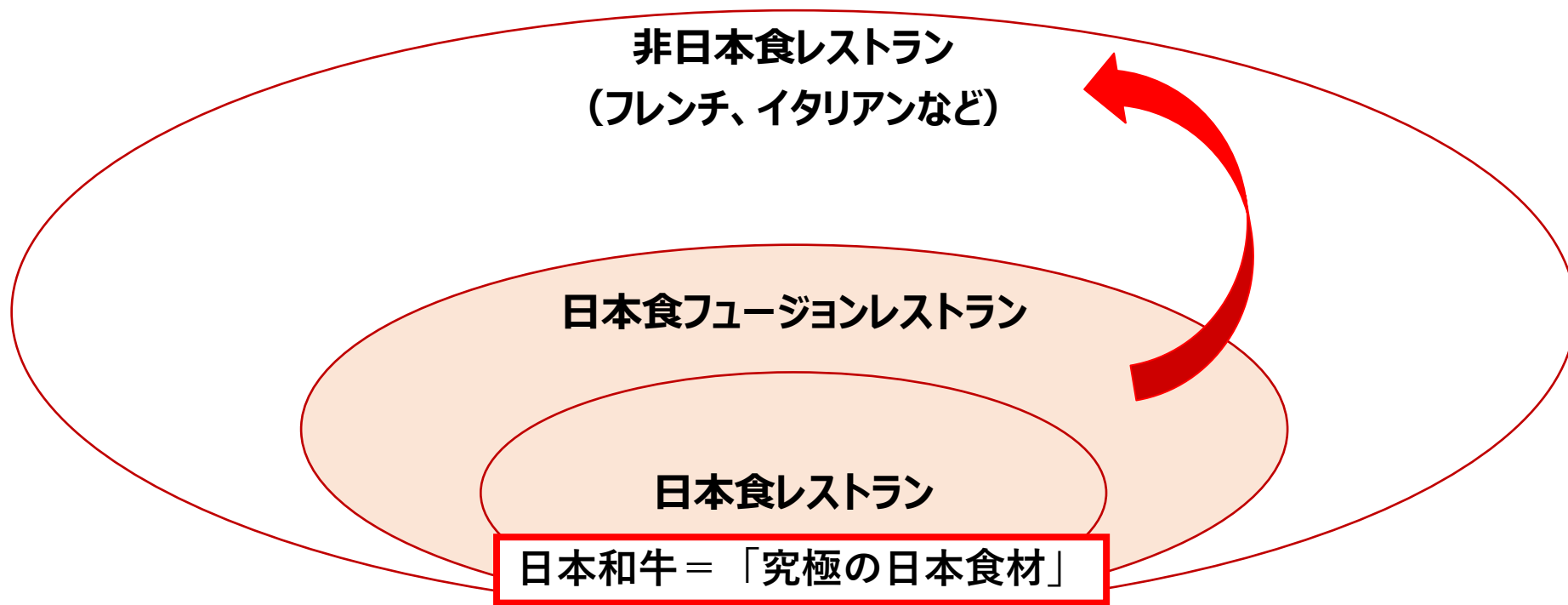
目的と取り組み方針

現地における日本和牛の認知率向上に向け、日本和牛を「究極の日本食材」として、現地で注目が高まる日本食文化の一部として訴求しました



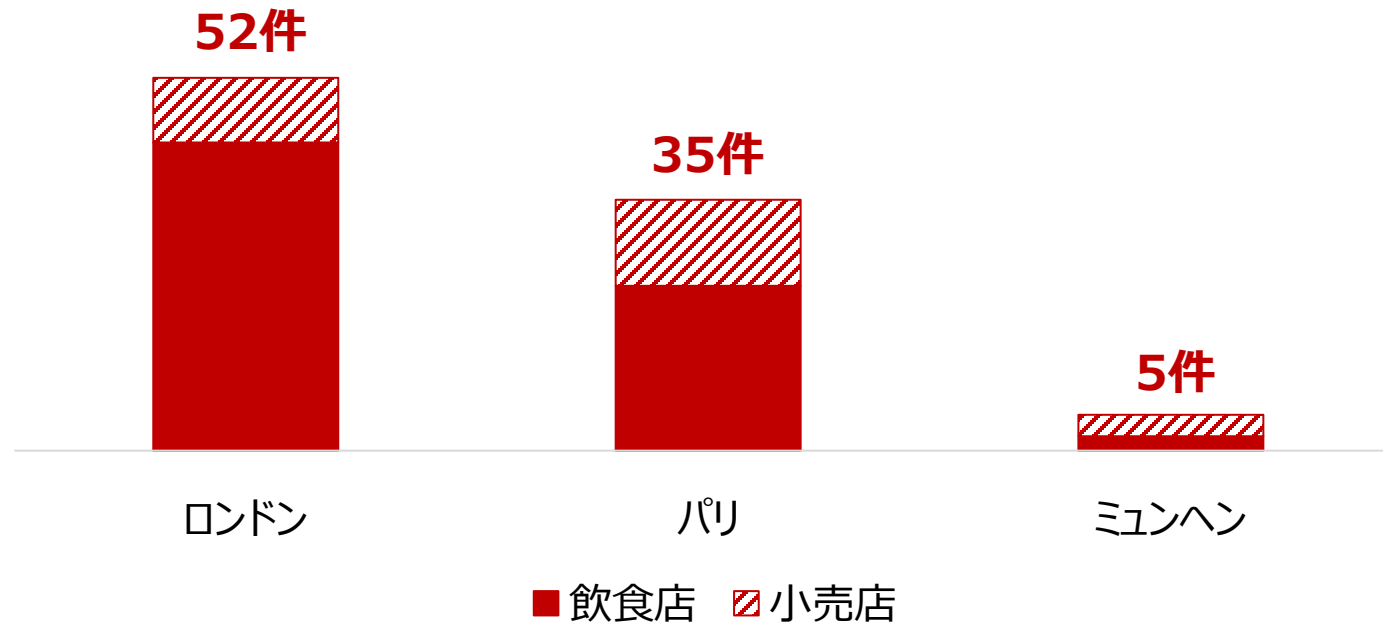
目的と取り組み方針

日本和牛を、中長期的に世界的な最高級食材として非日本食料理レストランにも導入していくため、今年度は、現地消費者が日本食材として関連付けやすい高級日本食レストラン等を足掛かりに施策を展開しました



ターゲット地域

欧州各主要都市の中では、日本和牛取扱店舗数が多いと思われる英国（ロンドン）およびフランス（パリ）を主なターゲット地域としました

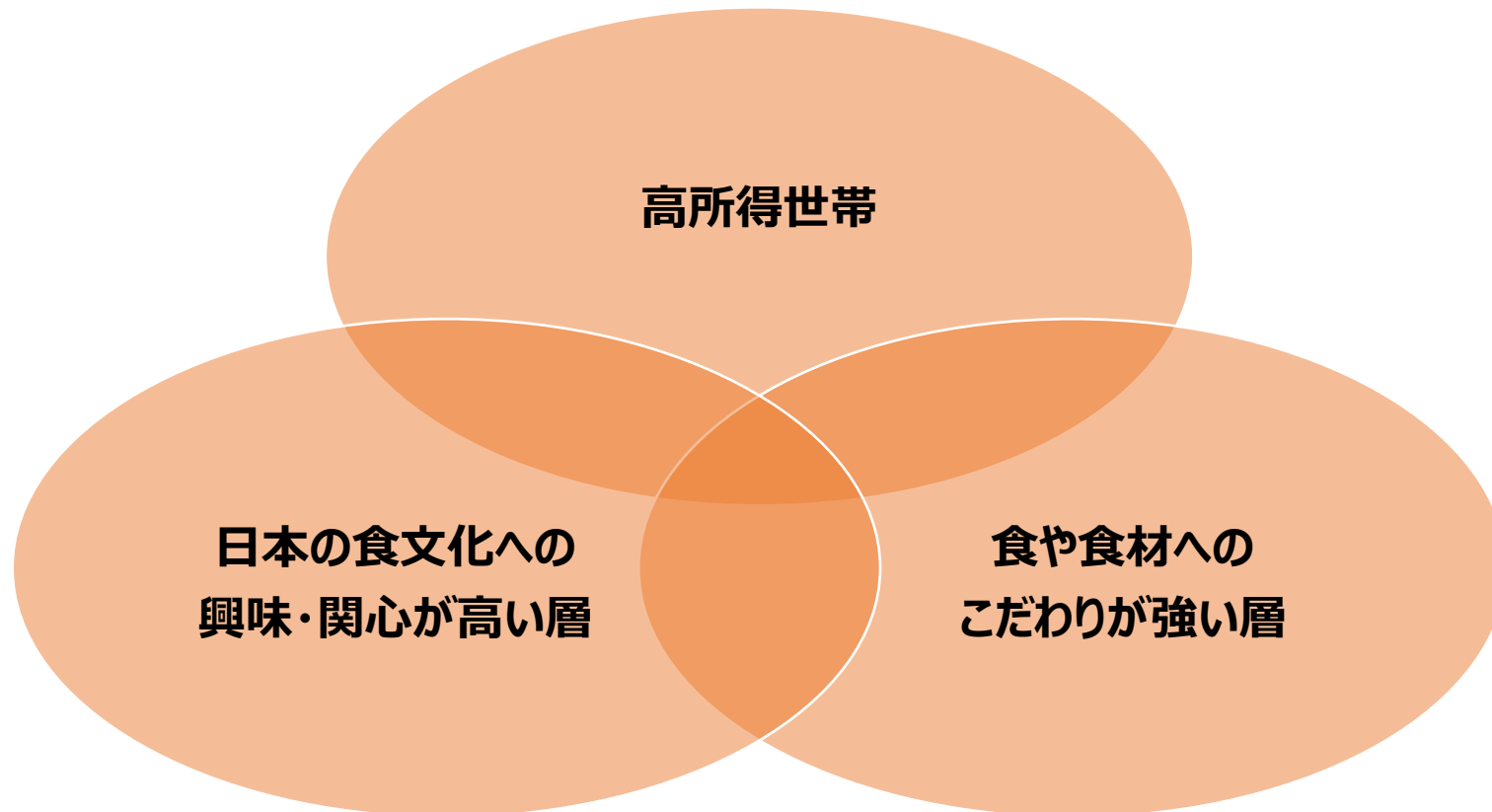


【図表：日本和牛の取扱店舗数】

出所：2020年度欧州における流通現場・ヒアリング調査

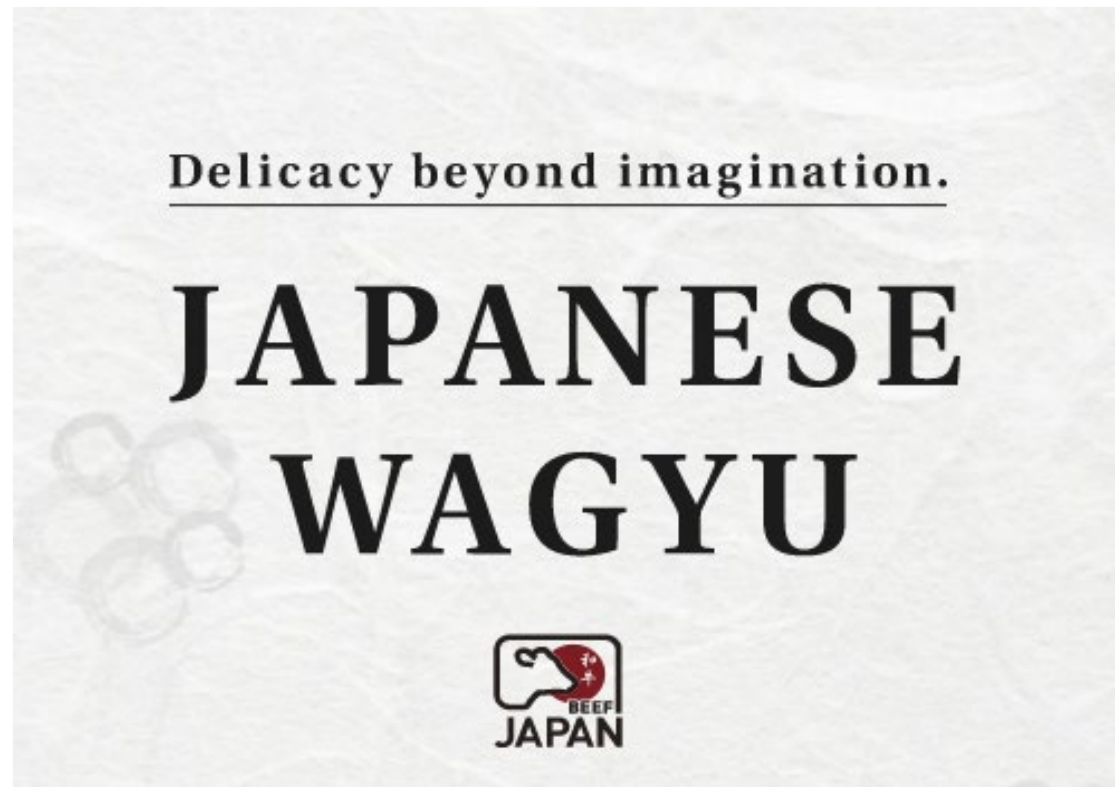
ターゲット層

高所得世帯（可処分所得75,001USD以上を目安）で、「日本の食文化への興味・関心が高い層」、「食や食材へのこだわりが強い層」をターゲット層に設定しました



キャッチコピー

繊細で洗練された「究極の日本食材」としての日本和牛を現地消費者に分かりやすく伝えるとともに、消費者の五感を刺激する、想像を超える魅力を「Delicacy beyond imagination.」というコピーとともに訴求しました



施策内容と実績

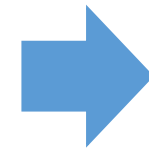
施策

ウェブサイト、SNS、インフルエンサー・メディア、デジタル広告などの各種手段を通じて、①コンセプトを通じた日本和牛の魅力発信と、②キャンペーン店舗への送客を中心に行いました

	2022年			2023年	
	10月	11月	12月	1月	2月
JFOODOウェブサイト・SNSからの情報発信	←—————→				
インフルエンサー・メディア向けイベント (英国:2022/11/11、フランス:11/8)		↔			
インフルエンサー・メディアからの情報発信		←—————→			
デジタル広告		←————→			
店舗キャンペーン (英国・フランス) (飲食・小売店)		←————→			

JFOODO日本和牛ウェブサイトからの情報発信

JFOODO日本和牛ウェブサイトでは、英語版およびフランス語版のリニューアルを行ない、①コンセプト（「究極の日本食材」）を通じた日本和牛の特長の訴求や、②キャンペーン参加店舗の紹介などを行いました



<2022年度 実績 (ウェブ)>

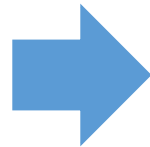
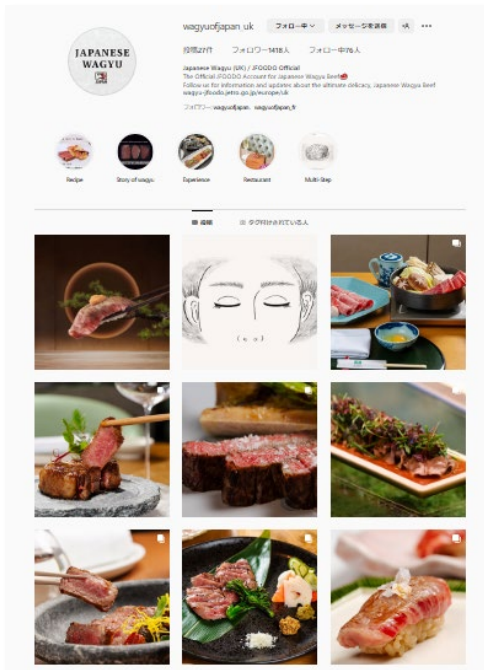
・PV数：43.6万

・ユーザー数：10.4万

ウェブサイト <https://wagyu-jfoodo.jetro.go.jp/europe/index.html>

JFOODO日本和牛SNSからの情報発信

JFOODO日本和牛SNSアカウントの開設・投稿を通じ、英国およびフランスの消費者に対し、プロモーションコンセプトや日本和牛の特長を訴求したほか、キャンペーン店舗への送客を図りました



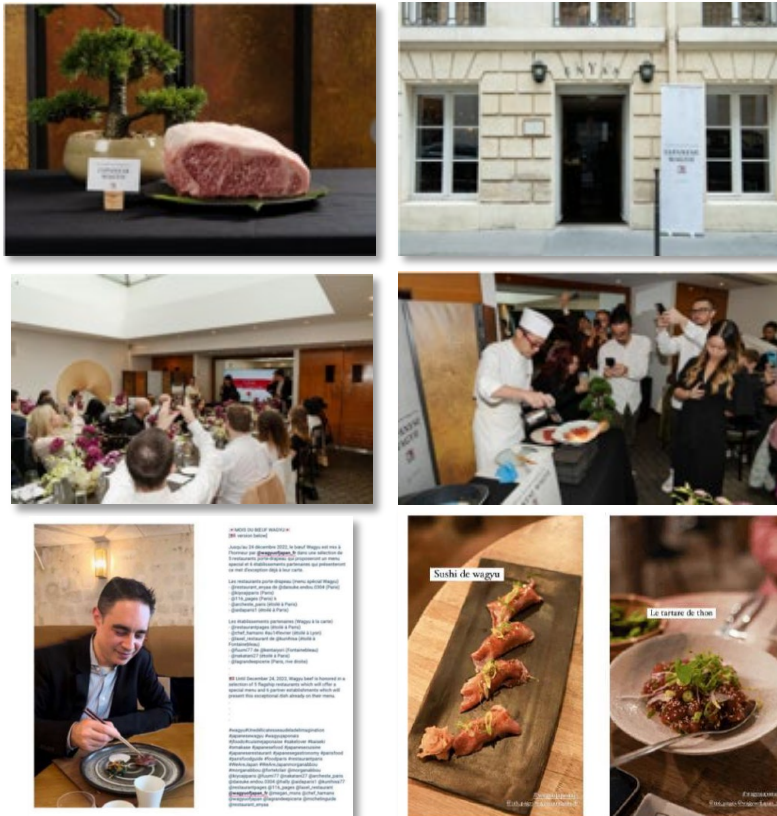
<2022年度実績 (Instagram、2か国合計) >

・投稿回数 : 48
・リーチ数 : 94.9万
・新規フォロワー数 : 3,322
・エンゲージメント数 : 2,493

Instagram (英国) https://www.instagram.com/wagyuofjapan_uk/
(フランス) https://www.instagram.com/wagyuofjapan_fr/

インフルエンサー・メディアからの情報発信

インフルエンサーや現地メディアが、①(JFOODO主催の)日本和牛イベントの様子や、②キャンペーン店舗へ訪問した様子を現地消費者に向けて投稿・掲載することによって、日本和牛への喫食意欲を喚起しました



<2022年度 実績 (インフルエンサー)>

・投稿件数 : **21** ・リーチ数 : **29万**
 ・エンゲージメント数 : **6,451**

<2022年度 実績 (メディア)>

・掲載された記事件数 : **23**

店舗キャンペーン

- 概要

今回のコンセプトを体現・発信する旗艦店を中心に、合計22店舗（英国11店舗、フランス11店舗）での店舗キャンペーンを通じ、現地消費者の認知および喫食意向の獲得を図りました

<キャンペーン概要>

- 開催都市：英国・ロンドン、フランス、パリ
- 開催時期：2022年10月～12月
- 参加対象：
 - ✓ 日本和牛の取り扱いがある飲食店・小売店
 - ✓ 今回のプロモーションコンセプトに賛同し、かつ体現できる店舗
- 参加店舗数：**22**店舗（英国：11店舗、フランス11店舗）
- 主なキャンペーン内容：
 - ✓ 日本和牛を使用した特別メニューの開発・提供
 - ✓ 店舗ウェブサイト・SNS等での連携
 - ✓ JFOODOによるウェブサイト・SNS等での紹介
 - ✓ インフルエンサーの派遣 等

※店舗によって連携施策は異なる。

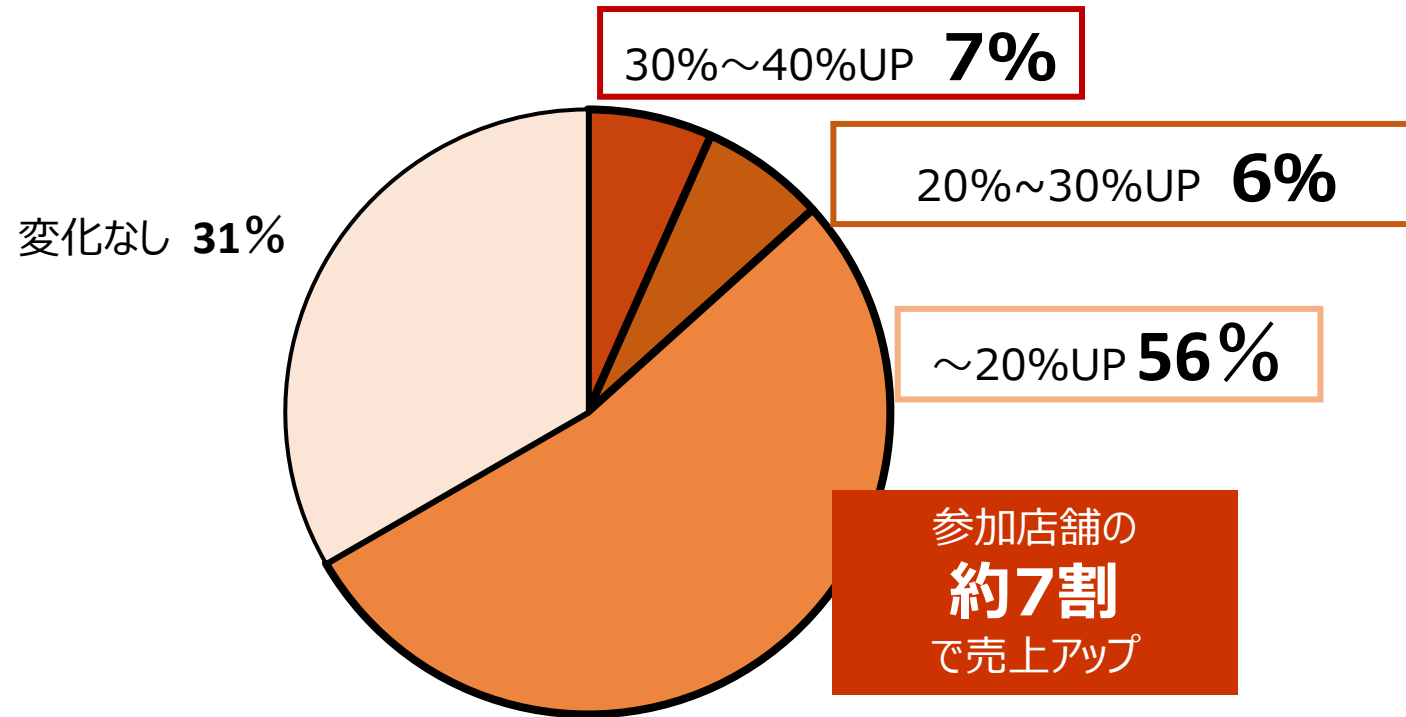


【JFOODOプロモーションSNSでの投稿例】

店舗キャンペーン

- (結果) 日本和牛メニューの売り上げ増加

約7割のキャンペーン参加店が、「前年同時期と比べて日本和牛メニューの売り上げが上がった」と回答しました



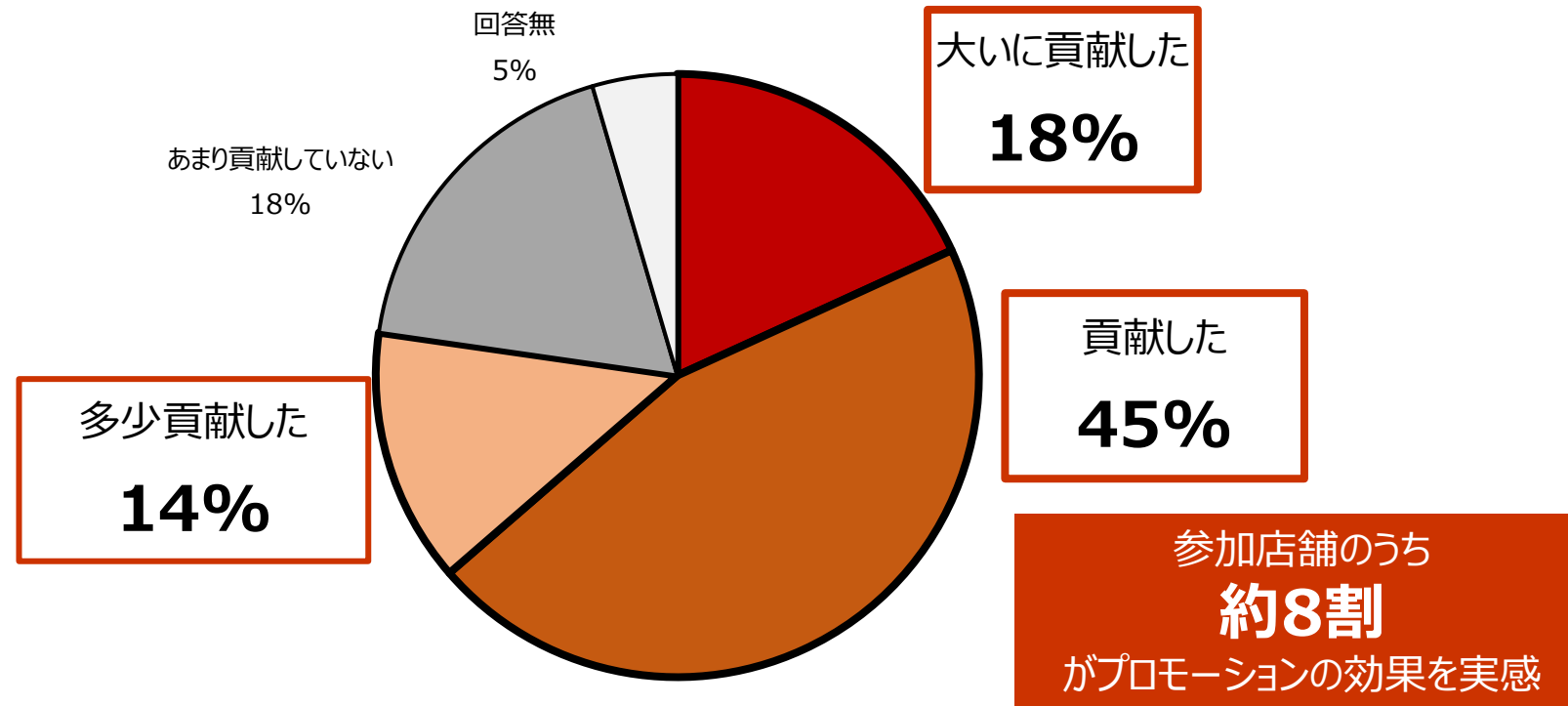
【図表】「前年同時期と比較して、貴店の日本和牛メニュー売り上げは何%上がりましたか？」への回答
(N=16 英国7店舗、フランス9店舗)

(*) 本キャンペーンで初めて日本和牛を取り扱うなど、「回答不可」とした6店はカウント外

店舗キャンペーン

- (結果) 店舗によるキャンペーンへの評価

約8割の参加店舗が、「今回のキャンペーンが、売り上げ増や日本和牛アイテムの認知向上に貢献した」と回答しました



【図表】 「今回のキャンペーンは売上向上や日本和牛アイテムの認知度向上に貢献したと思いますか？」への回答
(N=22)

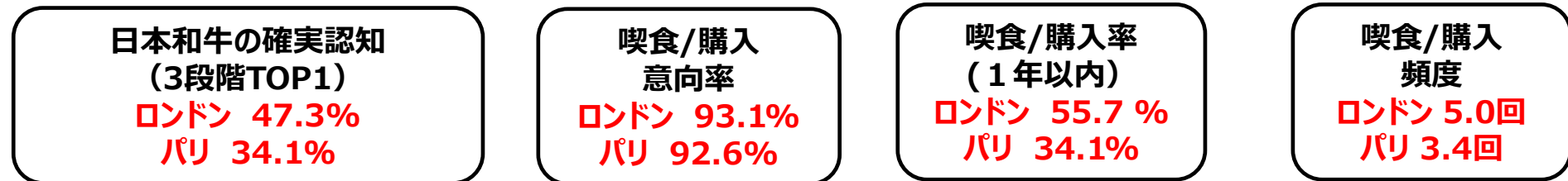
プロモーションの効果

プロモーションの効果

- プロモーション接触後の現地消費者の態度変容

施策接触者における、①日本和牛が他国産WAGYUと異なる特長を持つ点への認知率、②日本和牛の喫食/購入意向率、③喫食/購入率、④喫食/購入頻度について、目標値を概ね達成することができました

【2022年度（目標）】



【2022年度（結果）】



(※) 确实認知 (3段階TOP1: 名称および特長も認識している)、喫食/購入意向率 (特長理解者ベース、4段階TOP2)、喫食/購入率 (1年以内喫食経験者、喫食意向者ベース)、喫食/購入頻度 (1年以内喫食者) は、いずれも2021年度の欧州和牛プロモーション効果測定の結果値。

